

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	大崎市鹿島台家庭教育支援チーム (呼称: まあま)
活動開始年度	平成16年度
活動拠点	大崎市鹿島台公民館
活動範囲	大崎市鹿島台地域全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(学校・家庭・地域の連携協力推進事業) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (宮城県協働教育プラットフォーム事業)
組織体制	<u>15</u> 人 県子育てサポーター2人、サポーターリーダー2人、更生保護女性会 4人、主任児童委員 1人、民生・児童委員3人、婦人会 1人、その他 1人、保健師 1人
具体的な活動内容	家庭教育支援 (1) 子育て支援センターへの支援 ① 各種広場及び運動会時の準備補助 ② なかよしママ開催時の講師派遣及び託児 ③ ママたちのティータイム開催時の託児 (2) 市民福祉課への支援 ① 総合健診時の託児及び子育て相談 ② 子宮がん検診時の託児及び子育て相談 ③ 乳がん検診時の託児及び子育て相談 ④ 自分みがきして美ま専科開催時の託児 子育てママサークル ラ・シュシュへの支援 ① 講座開催時の講師派遣 学校教育支援 (1) 小学校への支援 ① 学級懇談時の見守り (2) 中学校への支援 ① 2学年ふれあい交流事業「生命を考える会」



(3) 幼稚園への支援

① 鹿島台第一幼稚園食育講座「ずんだ団子づくり」



② なかよし園食育講座「餅つき」

地域活動支援

① 公民館事業「図書まつり」

② のびのび生涯学習委員会事業

三世代交流「花太陽・マリーゴールド染め」

③ 子ども会育成会連合事業「キッズフェスティバル」

活動を通して感じていること
(成果、課題など)

活動を進めていく上で、行政と学校・幼稚園等との連携・協働が不可欠です。特に学校・幼稚園等との受入体制及び信頼関係が構築されていることが成果に繋がると感じています。